





深造の相と
稲をの〜み〜



素直に記さる細やきくの記

何事か方丈のり〜葉ら
を〜けり〜と〜あ〜さ〜さ〜
た〜二〜章〜を〜り〜して〜後〜句〜と
を〜終〜ふ〜と〜在〜目〜を〜お〜の〜
歌〜か〜ら〜り〜り〜り〜

中村俊定文庫

文庫 18

486

白糸成河よそはむと葉のむ

藤屋

銅比奈の紋めと似たり葉の花

藤屋をこころはれ葉のうらな ヨロモ 三を

風車

壺介と相ふやまきの風車 彦

吹舟をかほりや菊乃風車 和庭

渡車

白糸成河よそはむと葉の花 和吟

川の瀬に浪がときく此の山と車

曙

翠蓋 初音が水や鳥も天をてし葉のまは 鳥朝

暖引匂とあしー起る此を

落雪

ふすまを暖く蒸るや葉をこけ

翠蓋 葉は若くは葉は老く月の落るを 紅

落る雪

翠蓋 小舟は葉は白くやうに 花 吟

葉は若くは葉は老く月の落るを

夜飾

うし瑞波の底や菊さき

丁砂

咲けぬ葉の香はしき瑞

可延

京小袖

道りのうさや菊は京小袖

古松

菊の香は伝はるかゆて京小袖

釋

釋日み深くさるや菊の酒

釋日や乱る酒の菊さき

紅

旭向

葉のくまの鏡や 朝日向

を 迎 記 言 々 也 葉 此 想 じ 吟

朝 日 向 松

都 帰

名 山 一 都 帰 此 菊 花 孫 彦 彦

葉 大 將 菊 花 孫 彦 彦

馬 鹿 と 衣 級 流 也 葉 の 彦 吟

葉 乃 鞠 大 將 也 葉 此 吟

晴 互 沃

翠蓋

葉の風あかりと晴き川は色か

舞合

葉のひらりと舞とつゆやうらな菊 星流

新田川

葉の香や夕日こぼるる新田川 吟

葉の香やおまよふ交るる新田川

ハツ橋

翠蓋

ハツ橋をぬくや葉のあふ花 紅

黄流

新田川黄流あふる流る

香見山

翠蓋

落葉の香見山

吟

翠蓋

白葉の香見山

松

翠蓋

中葉の香見山

落

香見山



毎水二癸巳兼月會



ISSEIDO
田神 製成 京東

